

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 3号機原子炉格納容器漏えい率検査について

平成 16 年 3 月 2 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所 3号機(沸騰水型、定格出力 110 万キロワット)は、平成 14 年 8 月 10 日より第 7 回定期検査を開始し、平成 15 年 9 月 16 日より原子炉格納容器漏えい率検査の準備作業を行ってまいりました。

平成 16 年 2 月 27 日に原子炉格納容器内の昇圧を開始し、昨日午後 2 時より定期検査データの測定を開始しておりました。データ測定は本日午後 2 時に終了し、検査データについて原子力安全・保安院から原子炉格納容器の気密性を判断するための漏えい率が、判定基準を満たしていることをご確認いただきましたのでお知らせいたします。

なお、検査結果は以下の通りです。

定期検査データ記録

検査日 データ測定時間	漏えい率測定値 (判定基準：0.45% / 日以下)
3月1日(月) 14:00 ～ 3月2日(火) 14:00	0.010% / 日

(参考)

社内検査データ記録

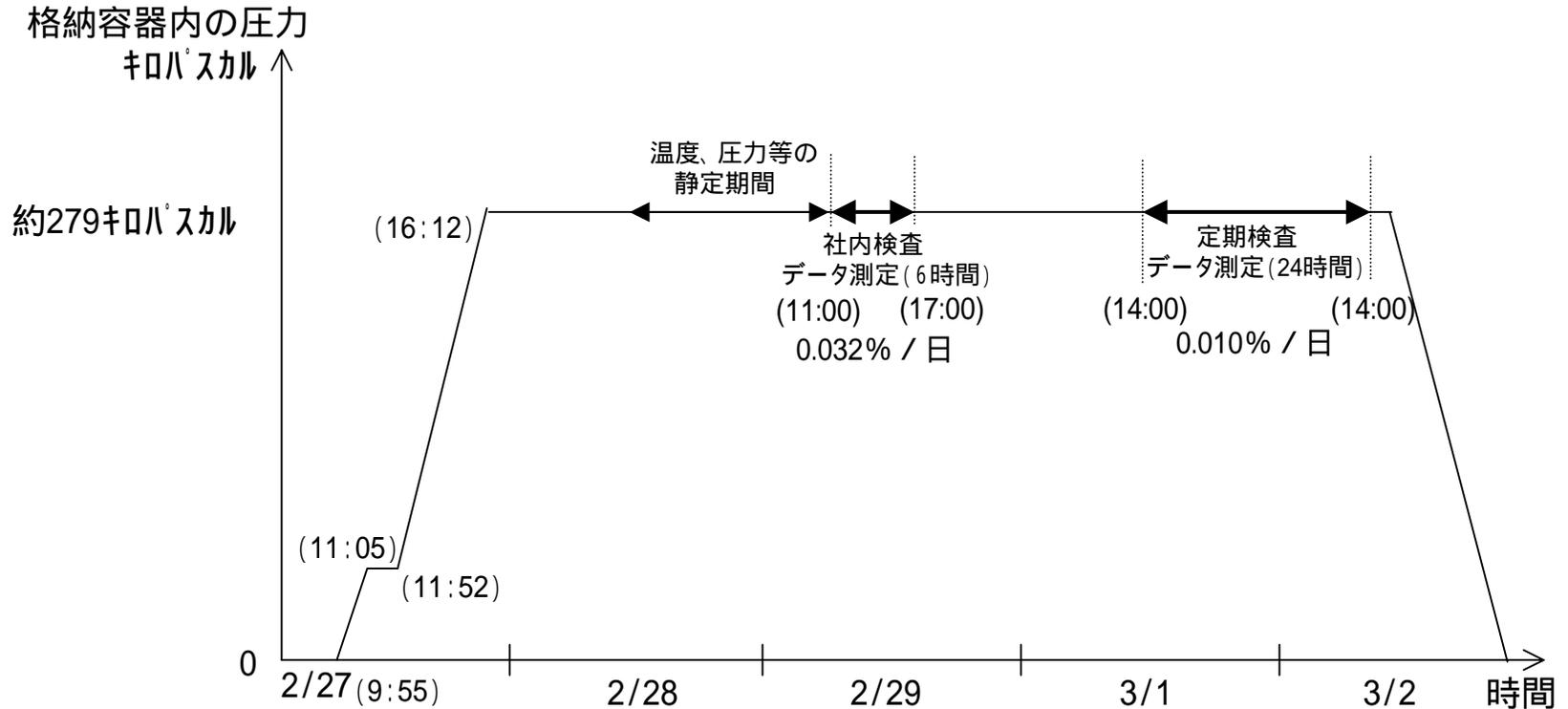
検査日 データ測定時間	漏えい率測定値 (判定基準：0.45% / 日以下)
2月29日(日) 11:00～17:00	0.032% / 日

今回の検査においては、厳正に実施されていることを確認するために、15 箇所の弁および 2 箇所の扉に対して封印を実施しておりますが、引き続き封印解除作業を実施し、検査が厳正に行われていたことを確認してまいります。

以 上

(参考)

## 柏崎刈羽原子力発電所3号機原子炉格納容器漏えい率検査実績



窒素ガスにより格納容器を試験圧力(279キロパスカル)以上まで加圧。

(加圧中に一旦加圧を止め漏えい確認を実施)

社内検査データ測定として6時間のデータを測定。

定期検査データ測定として24時間のデータを測定。

検査終了に伴い、格納容器の圧力を大気圧力まで降圧。

原子炉格納容器の設計圧力

・被ばく評価では0.5%/日の漏えい量を仮定しているが、原子炉格納容器漏えい率試験を定めているJEAC4203に従い、試験の判定基準を0.45%/日と設定。